

高校日本史プリント（過去問類似）

近代Ⅱ（大正～二つの大戦） No.8

名前

得点

/10

問1 1930年に調印されたロンドン海軍軍縮条約において、1922年のワシントン海軍軍縮条約で制限された主力艦に加えて、新たに保有量の制限が設けられた艦種の総称は何か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 補助艦 2. 駆逐艦 3. 主力艦 4. 巡洋艦

問2 石橋湛山が「東洋経済新報」において「小日本主義」を唱え、植民地の放棄や軍縮を主張していた時期、日本がロシア革命への干渉を目的として1918年から開始し、他国が撤退した後も1922年まで継続していた軍事行動は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 青島攻略 2. シベリア出兵 3. シベリア撤兵 4. 南洋諸島占領

問3 昭和恐慌下において、政党政治や財閥への批判を強めた井上日召が組織した右翼団体により、1932年に前蔵相の井上準之助や三井合名会社理事長の団琢磨が相次いで暗殺されたテロ事件を何というか。（2015年 全国公立入試 類似）

1. 十一月事件 2. 神兵隊事件 3. 桜田門事件 4. 血盟団事件

問4 日中戦争期の1937年から1938年にかけて、政府は反戦・反ファシズム運動への弾圧を強化した。この際、コミンテルンの戦術に呼応して国内で抵抗運動の結成を企てたとして、多くの知識人や活動家が検挙される人民戦線事件が起きた。この事件で検挙された、東京帝国大学教授などを務めた代表的な経済学者は誰か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 有沢広巳 2. 羽仁五郎 3. 大内兵衛 4. 森戸辰男

問5 満州国とモンゴル人民共和国の国境付近でソ連軍との大規模な軍事衝突が発生している最中、同盟関係を模索していたドイツが突如として独ソ不可侵条約を締結したため、「欧州の天地は複雑怪奇」との声明を出して総辞職した内閣は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 近衛文麿内閣 2. 若槻礼次郎内閣 3. 鈴木貫太郎内閣 4. 平沼騏一郎内閣

問6 1930年代、国際連盟を脱退して孤立を深めた日本は、ソ連を仮想敵国としてヨーロッパのファシズム国家への接近を試みた。1936年に調印され、コミンテルンなどの共産主義勢力の活動に対抗することを目的とした、日本とドイツによる協定は何か。なお、翌年にはイタリアもこれに加入した。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 日華基本条約 2. 日独防共協定 3. 日ソ中立条約 4. 日泰同盟条約

問7 第一次世界大戦期の大戦景気は日本経済を大きく発展させたが、同時に急激な物価上昇をもたらした。特に主食である米の価格急騰は庶民の生活を直撃し、1918年には富山県の漁村の女性たちによる米の移出反対運動を契機として、全国的な民衆暴動へと発展した。寺内正毅内閣が退陣する原因ともなったこの歴史的事件を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 護憲運動 2. 米騒動 3. 労働争議 4. 小作争議

問8 1930年代の日本では、対外関係の悪化や軍備拡張を背景に軍需生産が拡大し、鋼材の国内生産量が急増した。こうした重工業化の進展にともない、鉄鋼の自給体制を強化するため、1934年に官営の八幡製鉄所と民間の主要な製鉄会社が合併して設立された半官半民の企業は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 日本発電株式会社 2. 日本製鐵株式会社 3. 日本通運株式会社 4. 帝国燃料興業株式会社

問9 第一次世界大戦期、福島県の阿賀野川水系に建設された発電所から東京への長距離高圧送電が成功したことにより、工場の動力源の電化が急速に進んだ。この送電路の起点となった、日本で最初の大規模な水力発電所の名称を答えよ。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 猪苗代第一発電所 2. 黒部川第一発電所 3. 三居沢水力発電所 4. 猪苗代第二発電所

問10 1930年代前半に刊行されたある学術的著作は、マルクス主義の立場から日本の近代化の歴史的特質を分析し、当時の日本社会を絶対主義的天皇制と半封建的な地主・小作関係が支配する段階と位置づけた。この著作の刊行は、日本の資本主義の特質や社会主義革命の段階をめぐる知識人間の激しい論争を引き起こす契機となった。この著作の名称として最も適当なものを答えよ。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 日本資本主義発達史講座 2. 日本資本主義分析 3. 日本改造法案大綱 4. 日本資本主義発達史

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 1 補助艦	1922年のワシントン海軍軍縮条約では主力艦（戦艦・航空母艦）の保有比率が制限されたが、巡洋艦や駆逐艦、潜水艦などの補助艦については制限が及ばなかった。そのため、各国は補助艦の建造競争を展開することになり、これを抑制するために1930年のロンドン海軍軍縮会議で補助艦の保有量制限が合意された。
問2	答え 2 シベリア出兵	1918年に寺内正毅内閣のもとで開始されたシベリア出兵は、ロシア革命への干渉を目的としていた。共同出兵した英米などが撤退した後も、日本はワシントン会議が開催されていた1922年まで駐留を続け、国内外から強い批判を浴びた。
問3	答え 4 血盟団事件	世界恐慌の影響による昭和恐慌期、農村の窮乏や社会的不安を背景に、既成政党や特権財閥に対する批判が高まった。日蓮宗の僧侶であった井上日召は、一人一殺を掲げる過激な右翼団体を結成し、1932年2月に前蔵相の井上準之助を、同年3月に三井財閥の指導者である岡塚磨を暗殺した。この一連のテロは、同年の五・一五事件などととも、政党政治の終焉と軍部の台頭を加速させる契機となった。
問4	答え 3 大内兵衛	日中戦争の勃発に伴い、近衛文麿内閣のもとで国内の反戦・反ファシズム運動への弾圧が強まりました。1937年から1938年にかけて、コミンテルンの人民戦線戦術に呼応して日本でも人民戦線の結成を企てたとして、経済学者の大内兵衛や美濃部亮吉、労農派の活動家らが検挙されました。
問5	答え 4 平沼騏一郎内閣	1939年、ノモンハン事件でソ連軍と交戦中であった日本に対し、防共協定を結んでいたドイツが突如としてソ連と独ソ不可侵条約を締結した。これに衝撃を受けた平沼騏一郎首相は、それまでの外交方針が破綻したことを認め、「欧州の天地は複雑怪奇」という言葉を残して内閣総辞職に追い込まれた。
問6	答え 2 日独防共協定	1930年代、満州事変などを経て国際的に孤立した日本は、ソ連の脅威に対抗するため、同様に国際連盟を脱退していたドイツに接近した。1936年に締結されたこの協定は、共産主義の拡大を防ぐことを名目としており、翌1937年にはイタリアが加入して日独伊防共協定へと発展した。
問7	答え 2 米騒動	第一次世界大戦中の大戦景気による物価上昇や、シベリア出兵を見越した商人による米の買い占めなどにより、米価が急騰した。これに対し、1918年に富山県で女性たちが米の県外移出を阻止しようとした運動をきっかけに、全国的な暴動へと発展した。これが米騒動であり、事態を収拾できなかった寺内正毅内閣は総辞職に追い込まれ、その後の原敬政党内閣の成立へとつながった。
問8	答え 2 日本製鐵株式会社	1930年代の日本では、軍備拡張にともなう軍需生産の拡大を背景に、鋼材をはじめとする重化学工業の生産が急増した。このような重工業化の進展に対応し、鉄鋼の生産統制と自給体制の確立を目指して、1934年に官営の八幡製鉄所と三井・三菱などの民間製鉄会社が合併し、半官半民の国策会社である日本製鐵株式会社が設立された。
問9	答え 1 猪苗代第一発電所	1914年に完成した猪苗代第一発電所から東京への約225kmに及ぶ長距離高压送電の成功は、日本の工業における動力源が蒸気力から電力へと移行する契機となった。これにより、大戦景気期における急速な工業発展が支えられた。
問10	答え 1 日本資本主義発達史講座	1932年から刊行された『日本資本主義発達史講座』は、野呂栄太郎らを中心に執筆され、マルクス主義の立場から日本社会の歴史的発展段階を分析した。同書は、日本の現状を絶対主義的天皇制と半封建的寄生地主制の支配下にあるとし、まずブルジョワ民主主義革命が必要であると主張した（講座派）。これに対し、即時の社会主義革命を主張する労農派との間で、日本の資本主義の特質をめぐる「日本資本主義論争」が展開された。